

寝屋川民報

発行 日本共産党 寝屋川市会議員団
824-1181(内線2399)
FAX 824-7760
Email:jcpncc@cc-net.or.jp
NO. 2479

太田 とおる 高柳2-49-2
Tel.8.2.6-1.6.6.4
田中 ひさ子 国松町10-36
Tel.8.2.3-1.7.1.4
中林 かずえ 宝町4-33
Tel.8.3.9-2.2.8.9
中谷 光夫 高宮2-19-5
Tel.8.2.3-5.9.4.7
松尾 信次 下木田町12-6
Tel.8.2.1-7.4.2.7

東部大阪都市計画下水道の変更(大阪府決定)

建設事業費で3億円の削減効果

7月23日、今年度第1回寝屋川市都市計画審議会が開催されました。議会選出委員として、日本共産党からは中谷光夫議員が出席しました。

案件は、東部大阪都市計画下水道の変更(大阪府決定)について、寝屋川市の意見を検討することです。

変更理由は、「寝屋川北部流域下水道のうち萱島直送幹線については、寝屋川市を処理区域とした分流汚水の流域幹線であるが、自然流下を基本とした下水道施設とすべく詳細検討した結果、本案のとおり当該幹線の線形(ルート)変更を行うもの」としています。

説明と質疑を通じて、①萱島集水区の面積は

865畝、②下水管渠の起点は高宮栄町地内から新家1丁目地内へ、終点は東神田町地内、③圧送+自然流下から自然流下へ、高低差は1.4m、④管の内径は700mm×2条、1,500mmから1,100mmへ、⑤管渠延長は約2,120mから約1,400mへ、⑥道路上に堅坑を掘らずに、深さ9~8mの所を横にシールド工法で掘り進み、セグメント管をつないでいくことなどが明らかにになりました。

また、京阪電鉄の萱島車輛基地内の地下を通ることに伴っては、借地契約が協議されていると答えました。

さらに、詳細設計はまだまだ、計画の見直しによって、建設事業費が3億円削減できると説明しました。

工期は2年間、シールド工法による工事費は1m40万円と述べました。

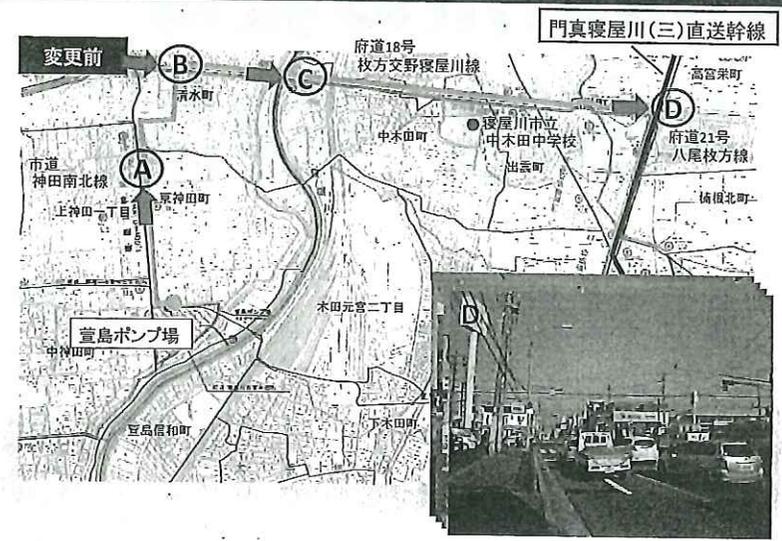
現在、最大の汚水量は38,000立方メートル、可能な最大汚水量は58,000立方

メートル、なわて水みらいセンターの計画では、増設で平成29年度から69,800立方メートルの処理ができるようになり、全体計画では、139,750立方メートルとなります。

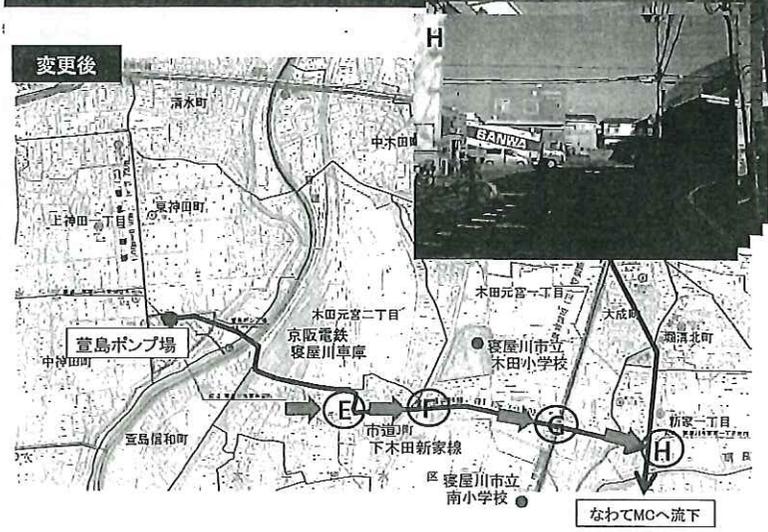
審議会は、全会一致で報告を了承しました。

審議会は、全会一致で報告を了承しました。

5. 萱島直送幹線 変更概要



5. 萱島直送幹線 変更概要



あかつき・ひばり園の運営形態の見直し等検討委員会
第8回 8/5 (月) 午前10時半~12時
市立総合センター4階 研修室
第9回 8/8 (木) 予定
*場所等、詳細については未定

新ごみ処理施設建設に伴う
生活環境影響調査結果の縦覧について(8/1~8/30)
(縦覧場所)
①クリーンセンター 5階 ごみ処理施設建設室
②市役所 本庁 1階 市民情報コーナー
③寝屋川市ホームページ
意見ある場合は、9月13日(金)までに、施設建設室に、直接、郵便、ファックス、メールでは犯罪的と言えます。

視界

猛暑の中、今年も原水爆禁止世界大会を迎えます。7月27・28日には恒例の寝屋川戦争・原爆展があり、今年もある人の被爆体験を初めて聴くことができました。被爆者の思いを胸に寝屋川からも職場・地域の代表が参加します。国連の代表を含む海外代表19カ国89人の参加が予定されています。核兵器廃絶の国際世論が力強く広がる中、被爆国にふさわしく、核兵器廃絶の先頭に立つように日本政府に迫る大会になるでしょう。▼4月下旬、2015年核不拡散条約(NPT)再検討会議に向けた第2回準備委員会がスイス・ジュネーブで開かれました。核兵器の非人道性を批判し核兵器不使用を主張した共同声明が発表され、賛同は80カ国になりました。声明を起草した国々は、日本政府の賛同を得るために、核兵器の「非合法化」の文言を削るなどかなりの譲歩をしましたが、にもかかわらず、戦争で核兵器の残虐性を体験した唯一の国である日本政府は、賛同署名を拒否しました。理由は、「いかなる状況下でも核兵器が二度と使われないことは人類生存の利益」の「いかなる状況下でも」の削除が認められなかったからです。米国の「核の傘」の下、核兵器の使用を認める日本政府の姿勢は犯罪的と言えます。

様変わり激しい寝屋川の教育 小中一貫教育・小学校給食・修学旅行

あなたは十二学園の名前をご存知ですか？

寝屋川市は、9年前の小学校統廃合の理由に、「小中一貫教育の推進」を打ち出し、一中学校区二小学校とするしました。

また、「小中一貫教育の成果」を求められ、今日まで「国際コミュニケーション・ショー」の名で「英語教育」に特別の力を注いできました。

当初「ナンバーワンよりもオンリーワンを」と強調した「特色ある学校づくり」も、全校参加の「ドリームプラン」競争が予算上の差別をうむ中、現在は、「小中一貫教育の第2ステージ・十二学園構想」として展開されています。

実現は、根本において教育の力にまつべきものである。」として、(教育の目的)を「人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身とも健康な国民の育成を

期して行われなければならぬ。」としていたとおり、深く重いものです。

寝屋川の今の教育があまりにも上っ面、うわべだけに見えませんか。十二学園の名前を見た印象です。

目を「総合的に判断」と変わっています。

平成26年度は、桜・国松緑丘・成美、27年度は、中央・田井・神田とし、今の梅が丘・堀溝・西・三井・石津・楠根と合わせ12校になります。

給食は教育の一環 民営化は教育破壊

寝屋川市は、馬場市政の下で、学校給食調理員についても退職不補充を進めてきました。その結果、一食あたりの人件費が高い順に6校を選び、小学校給食調理業務を民間業者に委託してきました。

寝屋川市の学校給食は、全国でもすぐれたアレルギー対応をしており、わざわざ寝屋川に引越して来る家庭もありました。

ながら、自校調理方式の下では限りなく人材派遣であり、偽装請負の疑いが強いものです。

市教委は、3月に「小学校給食調理業務委託方針」を決め、6月に「委託計画」を決めました。「方針」では「府の栄養教諭が配置されていない学校」など6項目の選定基準が、「計画」では6項

学校給食法では、教育の推進とともに教育の目的を実現するための目標が定められています。一般の食事提供と同じサービスではありません。財政効率の考えで教育を壊すことがあつてはなりません。

左に名前を一覧表にして紹介しています。市民の皆さんはご存知ですか。

改正前の教育基本法が「(憲法の)理想の

「民間のノウハウの活用」と、市教委は形のうちでは答えてきました。が、栄養職員と市の調理員が積み重ねてきた長年のすぐれた実績の前には通用しない

「小学校給食調理業務委託方針」を決め、6月に「委託計画」を決めました。「方針」では「府の栄養教諭が配置されていない学校」など6項目の選定基準が、「計画」では6項

法律相談のご案内
とき：8月22日(木)
午後6時半～
ところ：寝屋川市民会館
第3・4会議室
*問い合わせ先は党市会議員団

- ### 小学校修学旅行先一覧
1. 東 (舞鶴、出石) 2. 西 (淡路島、坂出)
 3. 南 (神戸、倉敷、牛窓) 4. 北 (舞鶴)
 5. 五小 (淡路島) 6. 成美 (神戸、蒜山)
 7. 明和 (舞鶴、神戸) 8. 池田 (五色台)
 9. 中央 (広島、備前、倉敷) 10. 啓明 (白川郷、飛騨高山)
 11. 三井 (淡路島、鳴門)
 12. 木屋 (淡路島) 13. 木田 (神戸、五色台)
 14. 神田 (淡路島、鳴門) 15. 堀溝 (信州、近江八幡)
 16. 田井 (神戸、牛窓) 17. 桜 (白川郷)
 18. 点野 (五色台、鳴門) 19. 和光 (神戸、淡路島、牛窓)
 20. 国松緑丘 (淡路島、神戸)
 21. 楠根 (舞鶴、若狭、敦賀)
 22. 梅が丘 (神戸、牛窓) 23. 宇谷 (ひるがの)
 24. 石津 (牛窓、倉敷)

- ### 12 学園言えますか？ (中学校区はどこでしょう)
1. 街の学校スクール・ネットワーク
 2. 双葉学園
 3. 香里園元気学園
 4. 東寝屋川学園 (E-Ne学園)
 5. 五凜学園
 6. 香里かほりまち学園
 7. 河内野くすのき学園
 8. 寝屋川西部学園
 9. 梨の木学園
 10. 寝屋鉢かづき学園
 11. きらりと輝く五つ星学園
 12. NAKAKIDA☆きらら学園

府営住宅総合募集のご案内

●申込書配布期間及び受付期間
8月1日(木)～8月15日(木)
*当日消印有効
市役所・各市民センター等で配布
問合せ：アーバンサービス(821-0970)
八坂町14-12 ジョリービルII 3階

議員日誌



中谷 光夫

参院選挙後初めての東寝屋川駅前での寝屋川民報配布、あいさつでのこと。これまでも声をかけられたことがない方々を含め、多くの人から、「おめでとう」「良かったね」「よう頑張ったな」などの祝意と激励をいただきました。勝った選挙とはこういうものか、心底実感しました。

選挙結果は、議席のうちでは自民党の大勝ですが、比例の得票率は3分の1を少し超えた程度です。1人区や

2人区が圧倒的な選挙制度のトリックです。マスコミが最後まで争点とした「アベノミクス」の評価と衆参のねじれ解消も選挙をゆがめました。国民が政党や候補者を選択するうえで最も重要なのは、政策の違いを明らかにし、国民のいのち・くらしなどがどうなるか、争点化することでした。国民多数の声と現実政治との「ねじれ」は激動的に進展することは必至です。共産党の真価はこれからです。